

市では、移住に至るまでのステップ「知る（市のことを知ってもらうための情報発信）⇒来る（市に実際に来てもらい暮らしを体験）⇒住む（住宅取得補助や引っ越し支援など、市に住んでもらうための支援）」に対応したさまざまな支援を行っています。今号では、支援を活用して移住された中野渡さん夫妻を紹介します。

INTERVIEW 移住者の声

地域を盛り上げたい ～カフェから広がる、夢と人の輪～

❖ カフェを始めるきっかけは？

お互いに青森市で働いていた頃から、将来は「カフェを開業したい」と話をしていました。平成29年5月にまちなか交流スペース「14-54（いちよんごーよん）」（稲生町14番54号）に遊びに行ったときに、オーナーのアレックスさんとマイケルさんから「カフェをやる人を探しているけど、良かったらどうですか？」と声を掛けていただいたのがきっかけです。

❖ カフェが開業するまで、あっという間でしたね？

声を掛けていただいた時から、心の中では「やってみたい」と思っていました。とても悩みましたが、「うまく行かないことがあっても若いうちなら、その経験も次につながられる」と決意しました。

市の支援制度「移住お試し住宅」を活用し、滞在期間中に、中心市街地に関する情報収集や住居探しをしました。

また、私たちと同じく移住してきた人たちが、いろいろな人を紹介してくれたおかげで、地域のコミュニティにも馴染むことができました。

❖ どういうカフェにしたいですか？

「こういう場所があるのを今まで知らなかった」と言う人もいるので、カフェに来てくれた人と積極的にコミュニケーションをとったり、地域の人に楽しんでもらえるイベントを企画したりして、楽しく集える「空間」作りを目指しています。

また、自分たちがどんどん市や商店街の魅力を発信して、市内外の人に遊びに来ていただきたいです。そして、商店街に出店する人が増えて、もっと楽しいまちになって…という良い循環を生み出して、より多くの人の流れをつくることにつながればいいと思っています。

※移住情報発信ポータルサイト「日々コレ+和田ナリ」では、移住支援制度の紹介や、移住者インタビューなどを発信しています。ぜひご覧ください。



中野渡 実知さん (26)
弘前市出身

中野渡 卓也さん (26)
青森市出身

共に青森市内で特別支援学校の臨時講師として勤めた後、昨年度十和田市に移住。

平成30年4月、中心市街地のまちなか交流スペース「14-54」内に「14-54 CAFE（いちよんごーよんかふえ）」をオープン。

カフェの営業 8：30～17：30（月曜日定休）

人気メニュー 十和田産ごぼうを使用したホットサンド

県では、首都圏からの移住促進に向けて、「仕事」「暮らし」「住まい」など移住に役立つ情報を提供する「青森暮らしセミナー～南部の暮らし編～」を開催します。

このフェアに本市も出展しますので、首都圏在住のご家族やお知り合いなどにぜひお知らせください。

❖ 青森暮らしセミナー～南部の暮らし編～

とき 11月18日(日) 午後4時30分～7時30分

ところ 東京交通会館8階 ふるさと回帰支援センター内
(東京都千代田区有楽町2-10-1)

内容 市町村職員による個別相談会など

参加費 無料

申込 あおもり移住・交流推進協議会事務局

(県地域活力振興課内) ☎017-734-9174



私も取材しました

「移住者インタビュー」のページは、職場体験実習（8月30日(木)）を市役所政策財政課地方創生・婚活支援係で行なった野月悠太郎さん（第一中学校3年）も一緒に作成しました。

